



JAXAの広報・教育活動について

2005年1月

独立行政法人宇宙航空研究開発機構
広報部

JAXAにおける広報・教育活動

報道活動

過去・現在・未来の事業内容を、マスメディア・インターネット等を通じて正確・迅速に国民に伝える。

<具体例>

・プレスリリース・記者説明会等の実施

・打上げ、開発品、施設等の公開

・その他

一般広報・普及活動

宇宙航空・研究開発について、広く国民に伝え、理解を得る為の活動。

<具体例>

- ・宇宙の日等イベントの開催
- ・ホームページ・パンフレットを通じた事業内容の公開
- ・宇宙ステーション等宇宙機を利用したプログラムの実施
- ・各種青少年向けツールによる**理解増進活動**展開
- ・展示館の運営
- ・その他

教育活動

宇宙航空事業の成果を積極的に利用して、教育活動・教育コミュニティの支援活動を行う。

<具体例>

- ・講演会、総合学習授業、科学館などの教育現場への支援
- ・コズミックカレッジ等オリジナルカリキュラムによる各種宇宙授業。
- ・教育現場への教育素材の提供等情報提供
- ・その他

広報・教育活動 第3四半期の主な活動

1. 報道活動	3
2. 一般広報・普及活動	
(1) 展示・イベント	4
(2) JAXA ！	5
(3) JAXAホームページについて	6
(4) タウンミーティング	7
3. 教育活動	
(1) 教育実践活動	8
(2) 教育支援活動	10
4. その他	11

報道対応活動状況

◆ 個別取材対応 平成16年度第3四半期 実績約50件

雑誌等掲載の例

・毎日中学生新聞(10月24日)

「実は宇宙技術」いまや宇宙は、日常生活とも密接な関係になっている。宇宙技術の日常生活への応用例を紹介。

・ソトコト(木楽舎 発行)

2004年10月号より半年間、「懐かしい未来を探して」というコーナーで、野口宇宙飛行士を中心に宇宙に関する記事を掲載。

バラエティ番組等での放送例

・フジテレビ 「さんま大先生が行く」(9月26日(日)13:00～14:00)

・TBS 「8時です！みんなの問題」(10月9日(土)19:00～20:54)

・NHK教育 「N響アワー：宇宙に耳をすませば」(11月28日(日)21:00～22:00)

◆ プロジェクト開発品等(人工衛星機体、ロケットエンジン燃焼試験、等)を公開

H- A7号機機体公開

・MTSAT-1Rを搭載して打ち上げを予定している、H-IIAロケット7号機の機体を12月21日、三菱重工業名古屋航空宇宙システム製作所の飛島工場で公開。
(ロケットシステムズ、三菱重工と共同)



2. 一般広報・普及活動

(1) 展示・イベント

International Astronautical Congress (IAC)



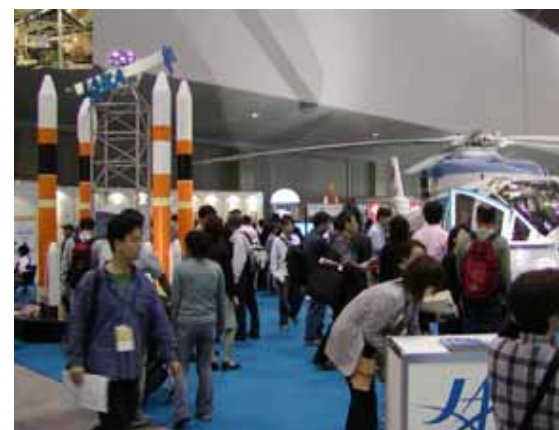
国際宇宙航行連盟 (IAF) が、国際宇宙航行アカデミー (IAA) 及び国際宇宙法学会 (IISL) と共同して、毎年開催している学会。例年2,000人 (日本からは約100名) が参加し、最新の研究成果及び活動状況等に関する論文発表 (約1000件)

会 期 : 平成16年10月4日 (月) ~ 10月8日 (金)
会 場 : Vancouver Convention & Exhibition Centre
来場者数 : 約25,000人 (IAC全体)

国際航空宇宙展 (JA2004)

日本航空宇宙工業会が主催し、4年に1回開催される。国内外の航空宇宙関連企業、団体が一同に会する国際展示会。

会 期 : 平成16年10月6日 (水) ~ 10日 (日)
会 場 : パシフィコ横浜展示ホール
来場者数: 109,898人 (JA2004全体)



2. 一般広報・普及活動

(2) JAXA i

実物(本物)の展示、資料映像により、宇宙開発の意義やリスクの説明を展開。画像等の閲覧、提供サービスも実施。

ライブ中継の実施

ソユーズの打上げや、ISSへのドッキングのライブ中継を実施(10月14日、16日)

企画展の実施

10月:身近な宇宙展

11月:2004宇宙の日作文絵画受賞作品展(小学生部門)

12月:2004宇宙の日作文絵画受賞作品展(中学生部門)



・来場者数実績:
約680人/日(12月の平均)
(旧 JAXA i @浜松町
1日当たり平均来場者数:30人程度)

2. 一般広報・普及広報

(3) JAXA ホームページについて

- ・ ボリューム 全体で約40,000ページ
- ・ 月間アクセス数 500万件以上
- ・ 双方向性
 - メール配信サービス 12,000人へのニュース配信
- ・ アクセスの傾向

宇宙関係のトピックがあった際など、天文・宇宙に関するさまざまな情報を掲載している
宇宙情報センター(spaceinfo.jaxa.jp)へのアクセスが急上昇

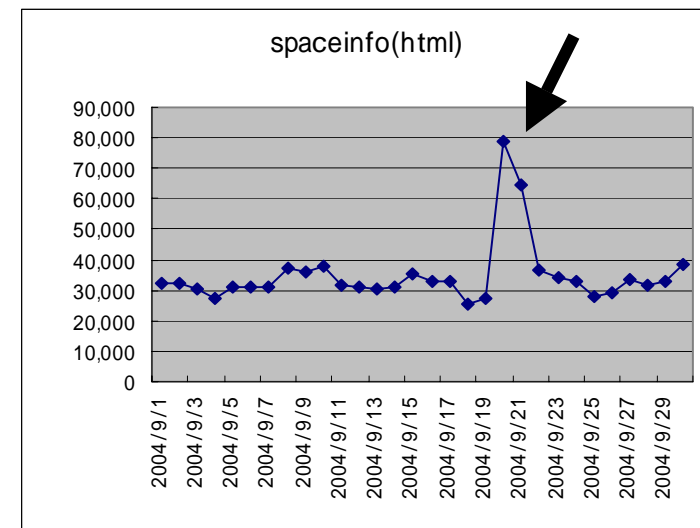
- ・ アクセス急上昇の事例

2004年12月2日

「誕生直後の銀河発見」のニュースで、宇宙情報センターへのアクセスが1日あたり54万ヒット

2004年12月24日

「小惑星が地球に衝突するかもしれない」というニュースに関連して、宇宙情報センターへのアクセスが1日あたり79万ヒット



「子どもの4割が天動説を信じている」という説がマスコミで話題になった際の宇宙情報センターのアクセスの急上昇。ふだんの2倍以上に跳ね上がっている。(9月20日) 6

2. 一般広報・普及活動

(4) タウンミーティング

宇宙開発について、国民の声を聞き、国民とともに考える場としての「タウンミーティング」を開催した。
今回は宮崎、前橋に次いで3回目である。

1. 開催日時: 12月12日(日)14:30~17:00

2. 開催場所: 会場 日本女子大学目白キャンパス新泉山館

3. 開催内容:

(1)テーマ: テーマ1「なぜ人類は宇宙を目指すのか」、テーマ2「日本が宇宙開発に貢献できることは何か」

(2)登壇者: 理事 樋口 清司、広報統括執行役 的川泰宣、宇宙飛行士 土井隆雄(米国ヒューストンからテレビ会議で参加)

(3)参加者: 参加者数 132名 (内訳:一般87名、主催関係者41名、報道関係者4社)

(4)内容

的川執行役から「なぜ人類は宇宙を目指すのか」についてのプレゼンテーションの後、参加者との意見交換。

主な意見:

宇宙に行った人は「地球はきれいだった」と言い、人間や自然に興味を持つようになる。ブッシュ大統領や小泉首相に宇宙に行ってみてもらいたい。そして、考えてもらいたい。

食糧不足の解決案として宇宙で食料や薬品を作る。

宇宙を目指すというのは人間のDNAの中にある動きに突き動かされているのではないか。

樋口理事から「日本が宇宙開発に貢献できることは何か」についてのプレゼンテーションの後、参加者との意見交換。

主な意見:

ロケットや宇宙ステーションはハードウェアで、日本が貢献できるのはソフトの部分ではないか。

CM活動やアニメーションなど、子どものころから興味を持たせるような活動を率先してほしい。

スペースデブリを回収する機械を開発してみてもどうか。



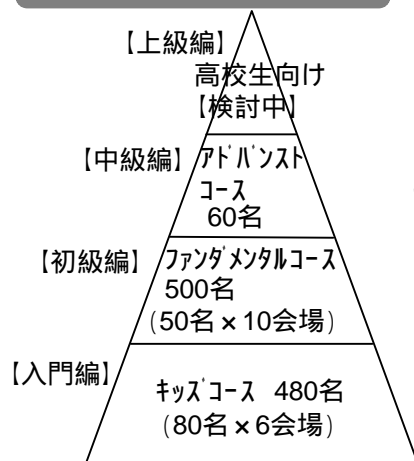
3. 教育活動

教育実践活動

JAXAの保有する知識、人材、施設を活用してJAXA独自の教育プログラムを創出し、自ら展開する活動。

小学生から社会人まで、さまざまな世代を対象として、教育現場からの要請をも踏まえた段階的、系統的なプログラム開発を行う。

コズミックカレッジ



4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

キッズコースの開催

(8月29日 愛知県名古屋市「名古屋市科学館」 80名)

(9月19日 北海道旭川市「旭川青少年科学館」 81名)

10月3日 岡山県倉敷市「倉敷科学センター」 80名

11月7日 長崎県長崎市「長崎市科学館」 130名

11月21日大阪府東大阪市「クリエイションコア」 101名

12月12日埼玉県さいたま市「宇宙劇場」 80名



宇宙学校

主として若年層を対象に、宇宙科学に対する理解を深めてもらうことを目的として、親しみやすい授業形式と対話集会形式(タウンミーティング)で開催する。質疑応答と市民参加に重点を置き、研究者と直接対話することで一方通行でない交流を図り、子ども達の宇宙科学への関心を高める。

10月31日 北海道帯広市 とかちプラザ レインボーホール

延べ 612名参加

【今後、倉敷(1月)、東京(2月)開催予定。】



3. 教育活動

教育支援活動

JAXAの保有する知識、人材、施設を活用し、学校や教員等、教育現場によるプログラム創出を支援するとともに、その実践を支援する活動。

文部科学省による教育指針を踏まえ、ここの教育現場において最適となるプログラムを開発・展開する。

コスミックカレッジ「エデュケーターコース」

エデュケーターコース
(3日コース)
40名(筑波会場)

7月実施済み(31名)

- (8月28日 愛知県名古屋市「名古屋市科学館」 19名)
- (9月18日 北海道旭川市「旭川青少年科学館」 14名)
- 10月2日 岡山県倉敷市「倉敷科学センター」 17名
- 11月6日 長崎県長崎市「長崎市科学館」 31名
- 11月20日大阪府東大阪市「クリエイションコア」 32名
- 12月11日埼玉県さいたま市「宇宙劇場」 24名

エデュケーターコース
(1日コース)
180名(30名×6会場)



リーダー育成セミナー

青少年を指導教育するリーダーを育成するためのセミナーとして、本年度から開催。

11月27日、28日 東京都千代田区 八重洲ホール 参加者:10都県13団体 20名



3. 教育活動

学校・教育機関との連携

総合学習、SSH、SPP等、学校における授業での、教育プログラム制作・授業支援。

下諏訪社中学校 1～3年 59名
(総合学習)

各務原市立那加中学校 120名
(総合学習)

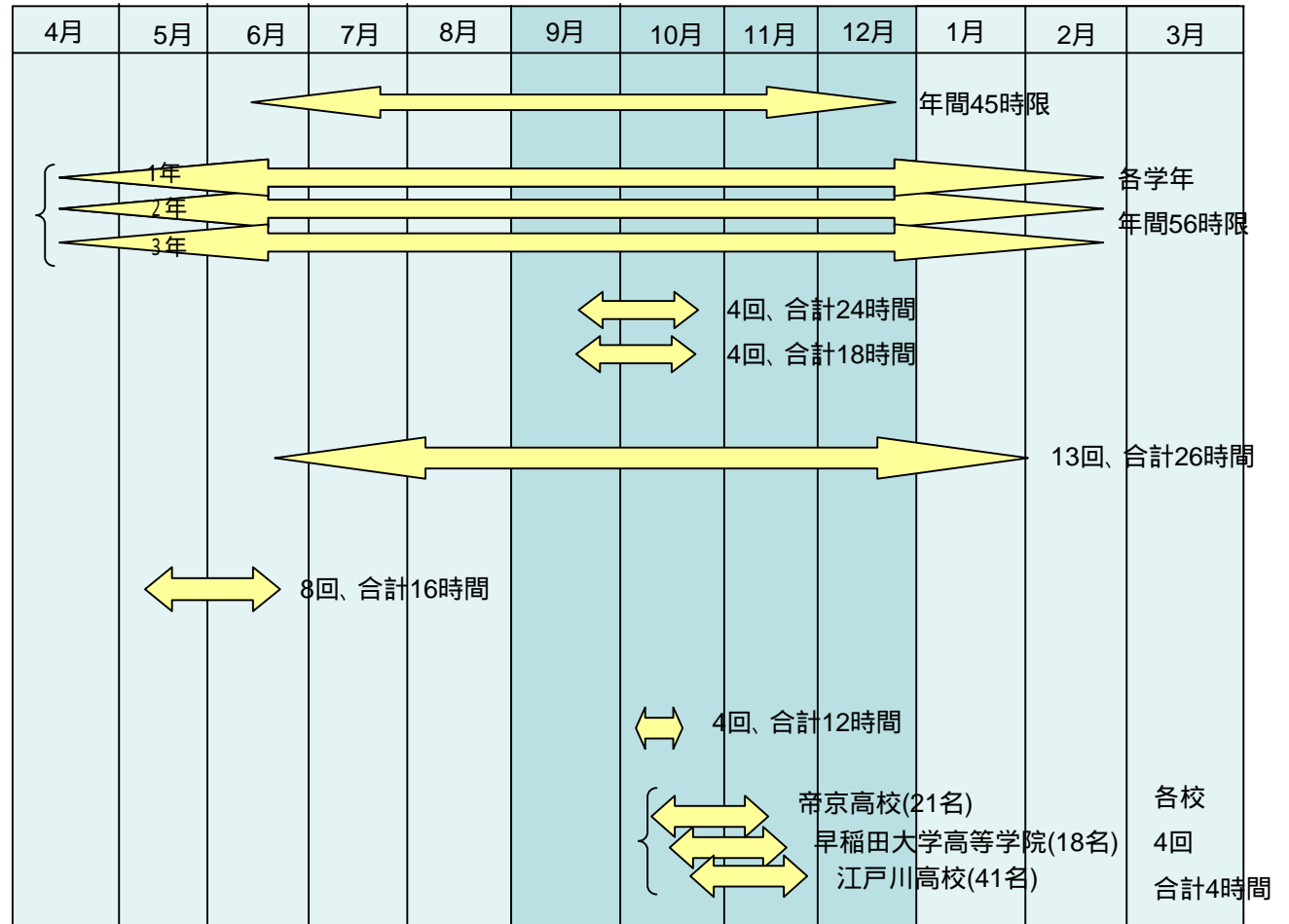
相模台工業高校 宇宙:28名
相模台工業高校 ロボット:20名
(SPP)

東海大学高輪台高校 15名
(SSH)

慶応義塾湘南藤沢中高等部 12名
(総合学習)

東京都未来塾 高校3年 50名
(校外授業)

NPO法人企業教育研究会 3高校
(選択授業)



4. その他

メディアで取り上げられた事例

テレビ

平成16年10月22日(金)午後10時50分～11時

NHK教育放送/「視点論点」

放送内容 的川泰宣執行役が出演し、「子供と宇宙教育」のテーマで講義

平成16年12月23日(木)午前8時30分～

TBSテレビ/「はなまるマーケット」

放送内容 都内のクリスマススポットの紹介の一つにJAXAiがとりあげられた。

雑誌

学生の就職情報誌「en」

エン・ジャパン発行、2006年新卒学生36万人に配布されている情報誌

JAXAは最新人気企業ランキングで理系学生の2位にランキング

楽しい理科授業(明治図書)

11月号

発展学習に使えるHPとして次のサイトが紹介

JAXAキッズ(<http://kids.jaxa.jp/>) スペース百科(<http://spaceinfo.jaxa.jp/>)

ユニバース(<http://www.universe-s.com/>)(JAXA他6機関による天文・宇宙・航空・教育広報 連絡会が作成)